



龍門滝



広報

かじき

人口・世帯の動き

(平成7年1月1日現在)

総人口23,558人(△4)	出生 18人
男 11,026人(6)	死亡 21人
女 12,532人(△10)	転入 85人
世帯数 8,616戸(2)	転出 86人

●()内は前月との比較

題字 宇都宮町長

新春を迎え

——新春を迎え、かねてはいかめしそうな注連縄しめなわもうれしげに風にゆれ、登校する子どもを待つ。これはこの

地区の下楠蘭勲さん(八十八歳)が、子どもたちの健康と学業を祈願して六年前から作り続けている縁起物。
さて、今年の干支は猪突猛進型の猪だが、この干支はただ単に動物を羅列してあるのではあるまい。それぞれに特

徴があり、のんびりしたものから猛々しいものまでいる。前はひと昔十二年だった。それは干支に関係がある。何事も一息にはいかなないので、十二年サイクルの干支に合わせて世の中を動かそうという昔の知恵なのだろう。



真新しい校舎を守るように……加治木小学校

平成7年

1

月号

今月のページ

☆新年のあいさつ…2～3ページ	☆議会報告・さえずりの森4月オープンへ…4ページ	☆龍門滝温泉…5ページ
☆交通災害共済保険…6ページ	☆出初式…7ページ	
☆町の話…8ページ	☆アンの英会話教室…9ページ	
☆かじっガラス…10ページ	☆椋鳩十・加治木文化財ウォッチング…11ページ	☆おしらせ…12ページ

●No. 483

発行 加治木町・編集 総務課 ☎ 62-2111 ●

平成七年

加治木町長 宇都宮 明人



エースの城後援会設立
Jリーグで大活躍



あわや大惨事！

城の坂のガケが崩壊

わがふるさとを よりよい“まち”に



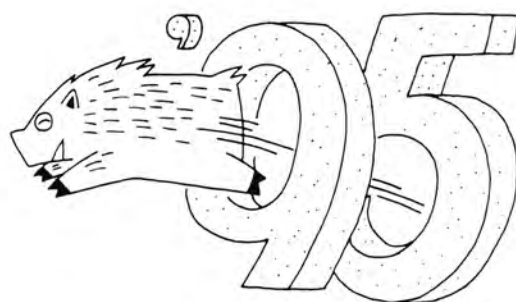
明けて
おめでとうございます。

皆様には輝かしい平成七年の新春を、それぞれの思いでお迎えのことと心からお慶び申し上げます。平素は大変お世話様に相成っており、衷心より厚く御礼申し上げます。

おかげさまで、この度三たび町政をお預かりすることになりました。高潔、公正を旨として誠心誠意全力で町政に取り組んで参りますので、何とぞさらなる皆様方の御支援、御協力、御指導のほどをよろしく願います。

さて、今年の干支は猪ですが、今年の猪ほど瞑想（走）か迷走が適当か、迷う猪はなかるうかと存じます。何となれば猪突猛进ということで、そのまま真っ直ぐ進むべきか、それとも左の道を真っ直ぐ進むべきか、あるいは右の道を突進すべきか、いや立ち止まるべきか、一九九五年の政治経済、国際情勢などの不透明さゆえ、進路を絶たれた感が致します。

人類は日々の忙しさに加え、足元の亀裂をじっくり見つめようとしていません。街には「激安」の言葉が躍り、「価格破壊」が行っているかにみえますが、底辺では新たな消費構造の変化が起



りつつあり、時代はまさに「生活本位制」へと移行しつつあるようです。ただし、行政には一刻の停滞も許されません。職員ともども町民の負託に答えるべく、世の中が不透明であればあるほど、全力投球を致す覚悟でございます。

今年こそ、わがふるさとをよりよい“まち”に変えるべく夢と希望を持ち、町民の皆様とともに頑張ろうではありませんか。

幾多の難問が山積しておりますが、主権者たる国民として、またよき町民として国家地域のために貢献することが、よりよい社会の形成につながるものと思います。

最後に、町民の皆様方のますますの御発展と御健勝を祈念申し上げます。新年のあいさついたします。



文化会館建設祈願祭



やはり夏まつりは楽しい

6年をふり返って



加治木町議会議長
溝口久男

地方の時代を 築こう

町民の皆様、明けましておめでとうございます。

皆様方には健やかな希望に満ちた新春を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。

議長就任以来、議員各位の協力のもとより、町民の皆様方のご指導とご協力を賜り、議会の運営も円滑に大過なく越年することができましたことに對し、心から厚く御礼を申し上げます。

かえりみますと、一昨年は長雨に加えて集中豪雨や台風に見舞われ、被害が続出した年でしたが、昨年は一転して、猛暑、日照り続きで干ばつ被害に悩まされた年でありました。幸いにも本町は大した影響はなかったものの、今年こそは良い年であることを願いたいものであります。

さて平成七年を迎え、国内外ともに激動する時代といわれています。国政においては、政界編成に大きく揺れ動き、先行き不透明な政治状況であります。こういうときこそ、地方政治にたずさわるものが足元をしっかり見据え、町民の福祉増進に、町づくりにと精力的に努力していくことが肝要かと思えます。

この先、年々増えるであろう高齢者人口問題、教育関係でのいじ

めの問題など、われわれが日々直面している大事なことの対応策にこそ、まさに地方の時代の真価が問われる時期といっても過言ではありません。

今年こそは、まちの活性化のためにも創意工夫をこらし、あらゆる対談のなかで知恵を出し合い、住民のニーズを先取りし、地方の時代のまち、加治木のまちづくりに、真剣に取り組んで参る所存でございます。

議会と致しまして、今後とも皆様方のご期待に添えるよう議員一同、心も新たに議会活動に専念いたしまして、町民福祉のさらなる向上につとめて参ります。

最後に、皆様方の限りないご多幸とご健勝を祈念いたしまして新年のあいさついたします。



議会報告〔第四回定例会〕

補正予算は

二億二百七万六千円の減

第四回町議会定例会は十二月十二日から二十二日まで
の十一日間の会期で開かれ、一般会計補正予算案や「加
治木町さえずりの森の設置及び管理に関する条例制定の
件」などの議案九件と陳情二件、意見案二件などが審議
されました。

さえずりの森

四月オープンへ向け始動！

一般会計補正予算は、道路や林
野関係など各課の事業がそれぞれ
承認されましたが、合計では文化
会館絡みで二億二百七万六千円の
減額となり、予算総額は七十一億
四千五百五十九万九千円となりま
した。

また、四月オープンの「さえず
りの森」の使用料などを定めた条
例を可決。オープンに向け、町内
外へ本格的にピーアールが行われ
ることになりました。

（主な使用料金）

施設（一泊二日）

・コテージ

一棟につき 三、五〇〇円
一名につき 一、五〇〇円

（乳幼児は無料）

・バンガロー

一棟につき 二、八〇〇円
一名につき 一、五〇〇円

（乳幼児は無料）

※コテージ・バンガローは、炊
飯炊用具、毛布、まくら及び薪、
シャワー、炊事棟の使用を含む。
・ミニバンガロー
一棟につき 一、五〇〇円
（シャワー、炊事棟の使用を含む）
管理センターの研修室
物品の販売や営業目的
一時間 一、〇〇〇円

競技会・展示会・集会など

・入場が有料のとき

一時間 六〇〇円

・入場が無料のとき

一時間 五〇〇円

シャワー施設 一名 一〇〇円

林間広場

持込みテント（張一泊） 五〇〇円

（炊事棟の使用を含む）

多目的広場など

物品の販売や営業目的

一日1㎡ 二〇〇円

（炊事棟の使用を含む）



用具（コテージ・バンガロー以外
の利用者に適用）

・炊飯炊用具

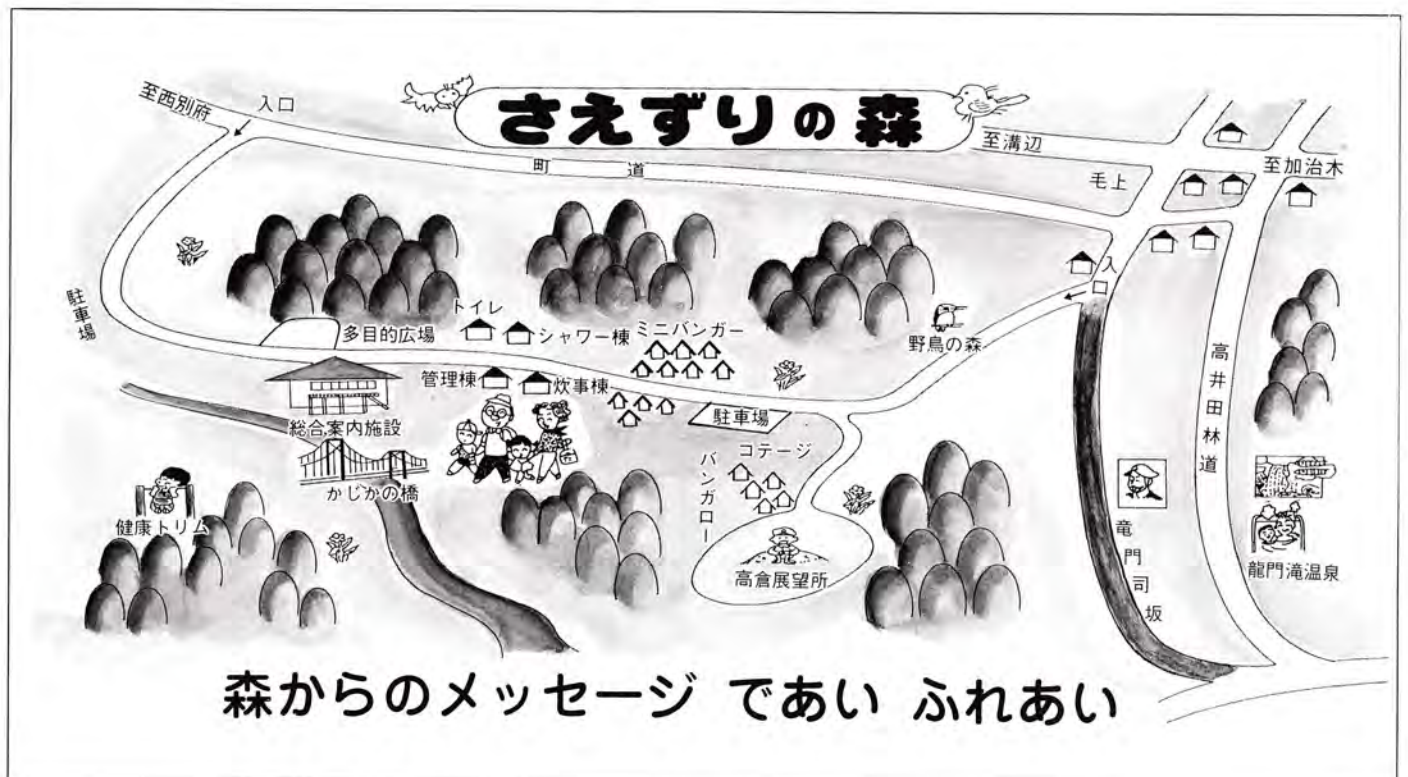
一セット（五名分） 六〇〇円

・毛布（シーツ付き） 三〇〇円

・薪 炊飯用（一束） 二〇〇円

・キャンプファイヤー用

一、〇〇〇円





開館2年目で
41万1,400人
突破

50万人目はあなたかも!

龍門滝温泉は

朝 6時から

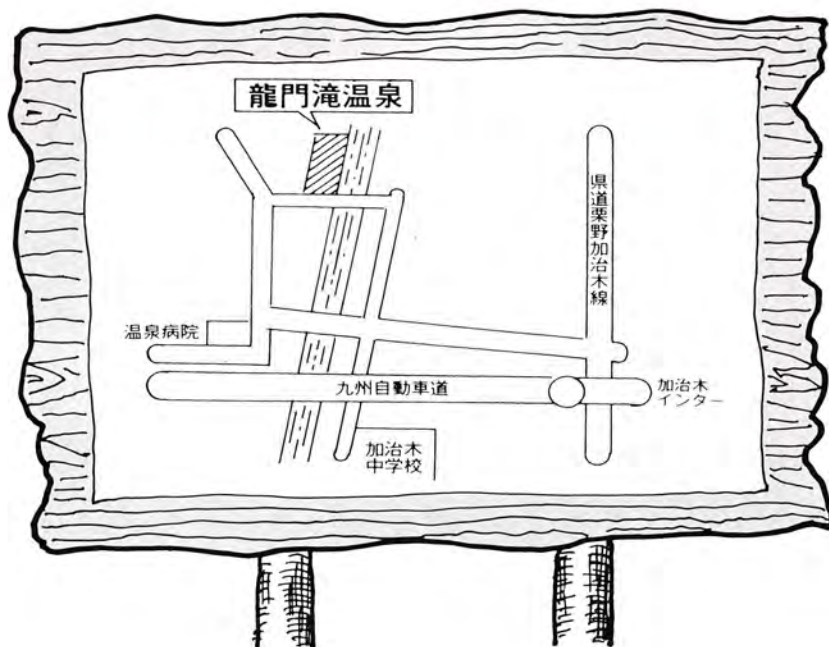
夜 10時まで

開いています。

(お休みは、

毎週月曜日です。)

龍門滝温泉



つばやき

一日の平均利用者数は、

約六〇〇人……

50万人突破は、

梅雨のころ?

交通災害共済保険に加入しよう

※三つの特点

1. 安い掛金(1人年間500円)で見舞金がもらえます。
2. 手続きは簡単……役場住民課窓口で受け付けます。
3. こんな時、見舞金がもらえます。

(ケガをして入院・通院を7日以上すると!)

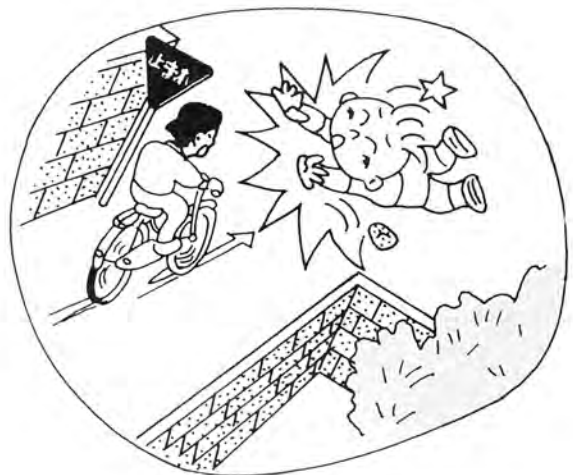
◎おっとっとあぶない!

〔自転車に乗っていて、たおれてケガをしたとき〕



◎前をしっかりと見て!

〔自転車とぶつかってケガをしたとき〕



◎子供の飛び出しあぶない!

〔はねられたり、同乗していて
ケガをしたとき〕



すべて道路上での事故
にかぎります。

▶お問い合わせは◀

いつでも住民課で受けつけています

役場住民課

☎62-2111 (内線120)



整然とパレードに出発

団員ら晴々と パレード

町消防出初式

正月恒例の加治木町消防出初式は一月十一日、多くの来賓を迎えて役場グラウンドで盛大に開催されました。

この日は、国分自衛隊音楽隊を先頭に各消防団員、幼年消防隊、消防車の堂々のパレードの後、役場グラウンドでは規律訓練や消防ポンプ操法、放水演習を披露。今年には特に来賓が多く、演じる団員も晴々とした様子でした。

表彰式関係(敬称略)

(町長表彰)

勤続章(35年)

勤続章(30年)

勤続章(20年)

勤続章(10年)

勤続章(5年以上)

勤続章(3年以上)

勤続章(1年以上)

勤続章(1年以上)

勤続章(1年以上)

勤続章(1年以上)

勤続章(1年以上)

勤続章(1年以上)

勤続章(1年以上)

勤続章(1年以上)

勤続章(1年以上)

勤続章(1年以上)

勤続章(1年以上)

勤続章(1年以上)

勤続章(1年以上)

勤続章(1年以上)

勤続章(1年以上)

勤続章(1年以上)

勤続章(1年以上)

勤続章(1年以上)

勤続章(1年以上)

勤続章(1年以上)

勤続章(1年以上)

勤続章(1年以上)

小山田分団 班長

中野分団 班長

中央分団 班長

小山田分団 団員

西別府分団 団員

〃 〃

〃 〃

小山田分団 団員

中央分団 班長

〃 〃

〃 〃

錦江分団 団員

西別府分団 〃

錦江分団 〃

〃 〃

〃 〃

中央分団 〃

〃 〃

〃 〃

無火災表彰(出初式から一年間)

辺川分団 連続24年間

中野分団 連続7年間

西別府分団 連続3年間

団体表彰(消火作業協力者)

満留建設有限公司

吉原自治会

個人表彰(初期消火協力者)

常盤文子(新町)

田畑静夫(弥勒)

小倉博之(始良町)

町長感謝状(退団者15年以上)

元中央分団 部長 中園 茂

元西別府分団 班長 内村清己

元小山田分団 団員 笹峯雄二

(消防団長表彰)

中央分団 団員 大沢利宣

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

中央分団 団員

錦江分団 〃

中央分団 〃

錦江分団 〃

中野分団 〃

錦江分団 〃

中央分団 〃

西別府分団 〃

〃 〃

元小山田分団 団員

元中央分団 〃

元中野分団 〃

元中央分団 〃

元錦江分団 〃

元西別府分団 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

〃 〃

霊前に献花

町戦没者追悼式



一人ひとり思いをこめて

町戦没者追悼式は十二月十三日福祉センターで行われ、おおぜいの遺族や来賓の方たちが参列しておごそかに営まれました。

追悼式は、先の大戦で国難に殉じた尊い御霊をなぐさめるため毎年開催されていますが、最も近い太平洋戦争からすでに今年には五十年。しかし、人の悲しみは年を重ねるたびにこえて深く増すのか、遺族の目には新たな涙の粒があふれ、霊前に献花された菊の花は、むしろ献花者をなぐさめるように会場をかぐわしい匂いで包んでいました。



規律訓練もきびきびと

もちつきと馬踊りに大喜び

加治木養護学校の子どもら

木田青壮年会

木田青壮年会（堀之内敏則会長・会員八十四人）と加治木養護学校（南九州病院内）は十二月十七日、もちつきや馬踊りを通して地域ふれあい交流を図りました。

この日は、四十人あまりの青壮年会員が参加。まず澤崎菊男さんのポニー二頭の馬踊りで開幕すると、頭を上手に振りながら可愛げに踊る馬に、約七十人の子どもたちは大喜び。その後は、馬に直に手でふれてスキンシップを楽しんでいました。また、昔ながらの木のウスとキネを使って青壮年会がもちつきをはじめると、子どもたちは掛け声をかけたり、もちを丸めたりしてもちつきのあたたかい

雰囲気を感じていました。

朝隈校長は「学校間の交流はありますが、地域のみなさんとは初めてです。みんなたいへん喜んでくれて……」と子どもたちの喜ぶ姿に目を細めていました。

木田青壮年会は、今年「木田ならではの社会貢献を」ともち米を10アール耕作。収穫したもち米を、加治木小学校、加治木望岳園、地区公民館にそれぞれ一俵ずつ、社会教育課に四十キ、社会福祉協議会に四俵贈りました。

さて、木田といえば鹿児島神宮初午歳の御神馬で有名ですが、青壮年会員らはたまたま特訓中です。（今年は二月十九日開催）

福祉に四万八千八百八十八円寄付

錦江三地区のゴルフコンペ同好会

錦江三地区のゴルフコンペ同好会の東三郎会長ほか二人が十二月九日役場を訪れ、チャリティで得た益金四万八千八百八十八円を宇都宮町長に寄付しました。

このチャリティゴルフは、地区の活性化を図るために始めたもので、今回で十回目（実員数五十二

人、延べ人数百四十三人）。東さ

んは「体育部長を六年経験しましたが、知らない人が多く人集めに苦労しました。しかし、ゴルフのおかげでやっと交流が図れるようになりました。これからも続けま

す」と喜んでいました。

ありがとうございました。



ありがとうございました



元気にかけ声を



ポニーに大喜び

県民文化祭優良団体で表彰

竜門小文化財少年団

県民文化祭の優良団体表彰式が昨年十一月二十日加治木町福祉センターで開催され、竜門小文化財少年団（竜門小学校・桑水流洋一教諭指導）が表彰されました。

これは、県民文化祭の未来を創る文化財ウオッチング事業の一環として行われたもので、県内百団体の中から選ばれた栄誉ある賞。竜門小文化財少年団のメンバー二十人は「龍門司焼を体験してその苦労や工夫を知り、ふるさとの良さを学ぼう」と地の利を生かし、

三彩焼に見入る

陶器まつり

龍門司焼恒例の「陶器まつり」は十二月十日、十一日の二日間小山田の窯元で開催され、連日おおぜいの人でにぎわいました。

茶碗屋の窯元は、ひっきりなしに止まる車で長蛇の列。また工房も湯飲みやカップを手を値踏みする客らでにぎわっていました。なかでも三彩焼は龍門司焼を代表する陶芸品で、川原軍次さんの卓越した技巧は県無形文化財指定。県内外から訪れた遠客はさすがに目が肥えているらしく、お目当ての作品を前にたたずみ、食い入るよう見入っていました。



おおぜいの人でにぎわう



よくがんばりました

生活に密着した陶器づくりに励んだものです。

優勝 井上福井 (七〇歳)
二位 猪俣静夫 (五六歳)
三位 中山澄雄 (四七歳)

(個人戦)

江連合▽三位：岩原西 A

(団体戦) 優勝：竜門▽二位：錦

成績(敬称略)

後、セコ打ちという個人戦に挑戦

して氣勢を上げていました。

この日は、参加した六十人あま

りの会員らが、地区ごとに五人ず

つの組みに別れて団体戦を競った

ウンドで開催されました。

新春を飾る老人クラブ恒例のは

まなげ大会が一月六日、役場グラ

ウンドで開催されました。

はまなげ大会

セコ打ち優勝 井上福井さん



ハリキリすぎて、コロリン……

子どもたちを花に親しませるこ
とは、感性豊かな心を植えつける
のに恰好の自然勉強。花の育て方
を自分なりに工夫することで、自
分の隠された個性も引き出してい
けるのです。

第二十六回南日本花だんコンク
ールで永原小学校が銅賞を獲得、
加治木小学校が入選を果たし昨年
十一月二十五日、篠原英熊教育長
からそれぞれ表彰状と記念品が伝
達されました。

永原小 銅賞
加治木小 入選
南日本花だんコンクール



おめでとうございます

アンの英会話教室

みなさん、明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

○今月は“is~than” (のほうが~より) という表現を勉強しましょうか。

My Ishida is younger than I.

石田さんのほうが私より若いです。

〃 older

〃 (年上)

〃 taller

〃 (背が高い)

〃 shorter

〃 (背が低い)



○もっと複雑な文章になると下にある表現ができます。

I drink more shochu than beer.

私はビールより焼酎の方をよく飲みます。

(鹿児島県では便利な熟語ですね)

Going by car is cheaper than going by bus.

車で行くほうがバスで行くより安いです。

Konishiki is stronger than Wakanohana.

小錦のほうが若の花より強いです。

○質問としては

Who is stronger, Konishiki or Wakanohana? 小錦と若の花、どちらが強いのですか。

taller (背が高い)

thinner (やせている)

better at karaoke (カラオケが上手)

来月まで気をつけてね。

—— Slan go foill!!! ——



▼昨年は、やたらとサイレンが鳴った。交通違反車を追いかけるパトカーではない。消防車のサイレンだ。そのけたたましい音と真っ赤な車体は、見たものをハッとさせる緊張感がある。火事は恐ろしい。ゴウゴウと燃えさかる炎は、ようやく築いた財産はおろか、何者にも変えがたい尊い人命をも一瞬のうちに飲み込んでしまうのである。

▼さて、町内には、中央、錦江、西別府、辺川、小山田、中野の六分団の百六十二人の消防団員がいる。いざ火事というとき、大事な初期消火に当たっているのである。

正月恒例の町出初式が一月十一日、役場グラウンドを中心に

行われ、消防団員がパレードや規律訓練、放水演習などを披露した。失礼だが、その颯爽とした凛々しい姿は、かねての日常生活からはうかがいしれないものがあつた。みんなの臨場感あふれる表情に、それを見物する人たちも引きずり込まれるように見入っていた。それは消防団

火の用心—尊い人命を守る みんなが防火意識を持つて…

員全員が、町民の人命と財産を預かることの大事さを、いや火災現場での悲惨さを痛感しているからである。

また消防団は火事だけに止まらず、地震や台風、豪雨時などあらゆる分野で活躍している。その一人ひとりの表情は、町民の命を守るといふ使命感にあふれ、真摯な瞳の輝きは何とも頼

もしいかぎりである。

▼昨年暮れまで、町内で八件の火事が発生した。死亡者も出た。人身にまつわる悲劇はやはり痛ましい。火の用心に優る人命対策はないのである。

火災の原因は、主に風呂の後始末や油鍋だ。それに電気やガスが普及した昨今、いくら安全だと言ってもそれを使うのは人である。みんなが確固たる防火意識を持つて利用しなければ、決して火事はなくならない。文明の利器にたより切った人間の無精さ加減が、あんな悲劇を生むと言っても過言ではない。まずはあなた、今日の火の始末は大丈夫ですか……。

所得税の確定申告は 3月15日までに

平成6年分所得税、消費税(個人分)、贈与税などの納税相談は

加治木税務署へ

3月7日～15日まで



鹿児島西高通信制学生募集

現在学生二千五百余名で、年齢は15歳から70歳までの多種多様な方々が学習しています。

▽修学年限 4年以上

▽入学資格

- ①平成7年3月に中学校又はこれに準ずる学校を卒業見込みの者
- ②中学校又はこれに準ずる学校を卒業した者
- ③高等学校の卒業生又は高等学校

卒業を目的としない者で、もつと教養を高めた者、又は一部の教科科目を学習したい者

▽学科

- ①普通科(一般の入学希望者)
- ②衛生看護科

▽出願期間 7年3月22日から4月6日正午必着

※詳しくは新入生係まで

(☎0992-291374)

雇用保険の新制度がスタート

六十歳以上六十五歳未満の雇用保険の被保険者で、六十歳時に比べて賃金が一定以上低下した状態で働き続ける方や、一歳未満の子を養育するために育児休業を取得する被保険者の方に対して、二種類の給付が四月一日からスタートします。

未滿の被保険者に、低下した賃金の二十五%以下の一定率を支給する制度です。

「育児休業給付」

一歳未滿の子を養育するため育児休業を取得した被保険者に、休業開始前の賃金の二十五%以下の一定率を支給する制度です。

※くわしくは、県庁雇用保険課へ

(☎0992-261811)

または最寄りの公共職業安定所へお問い合わせください。

「高年齢雇用継続給付」

賃金が六十歳到達時に比べて八十五%未滿に低下した状態で、雇用を継続する六十歳以上六十五歳

労働安全衛生法に基づく各種免許試験の日程が決まりました

労働安全衛生法に基づく各種免許試験について、平成七年度上期(四月～九月)の試験日程が定まりました。

術センター

(☎0942-4313381)

もしくは最寄りの労働基準監督署にお問い合わせください。

くわしいことは九州安全衛生技

十鳩棕

親子読書活動

充実の平成七年です

棕鳩十文学記念館は、平成二年六月開館以来順調な運営がなされ、去る十一月十七日入館者数五万人を突破したことは、よろこばしいことであります。

文学記念館は、開館当時から五つの運営方針をたて、一貫して、この方針を軸に運営がなされてきました。

一、棕文学を顕彰し、棕文学をはじめ、児童文学研究の場にしたい。

二、子どもや親たちが、読書の楽しみ、よろこびを、生活の中に生かす場にした。

三、幼児に本を読んで聞かせるべく読み聞かせを始める親子読書運動普及展開の拠点になるよう、意欲的に取り組む。

四、児童文学・親子読書運動を中軸とする県内外・全国的イベント開催の場にした。

五、児童文学を通じての国際文化交流の場にする素地づくりの構想を考えた。

以上の五項目を柱として、平成七年も運営していくことになります。

どの項もきわめて大切なことであり、年間を通じて努力を惜

まない項であるが、平成七年は特に、第三項について精力的に取り組みたいと考えています。

開館以来五年を経た今日、加治木町の親子読書活動は順調に育ちつつあるといえます。

●わかば親子会（柁城小）

●にしきえ親子読書会（錦江小）

●竜門親子読書会（竜門小）

●一年学級PTA（永原小）

●親子読書サークル（加治木小）

●加治木幼稚園親子読書会

●白いポケット（錦江幼稚園）

●えほんの会（あいら幼稚園）

●ふたば親子読書会（双葉幼稚園）

世話係の方々は、もつとこうしたい。ああしたい。とお考えでしょうが、こういう会のお世話は、楽しみもあるが、苦勞も多いものです。

ほんとにごくろうさまです。

さて、今年は、町内グループの交流会だけでなく、他町グループとの交流座談会も考えてみましょうか。さらに、近隣市町親子読書の方々に集まってもらって、始良地区の活動がより活発になるよう努力したいものです。

棕記念館は、その拠点であることを忘れないように。

加治木文化財ウオッチング(24)

歴史にだつたらはないが……

島津家二十四代藩主島津重年

島津家二十四代藩主の島津重年をご存じでしょうか。

県指定文化財の「竜門司坂」に敷き詰められている石畳、この石を切り出した樋之迫山（高井田林道右手）の麓に加治木島津家第四代領主島津久門直筆の山の神の祠が残っていますが、この久門が後の島津重年です。

重年は初め、加治木島津家島津久季の養子となつて加治木島津家を継ぎましたが、本家の兄で第二十三代藩主島津宗信が若くして亡くなったので、重年が本家に戻り第二十四代藩主を継いだのです。

このように加治木では竜門司

坂と関わりの深い重年ですが、本家を継いでからは、今の岐阜県の本曾川治水工事を幕府から命ぜられ、八十五名の犠牲者を出しながらも見事に成し遂げ、「薩摩義士」として今なお顕彰されている宝暦治水工事のときの藩主でもあります。

この工事は困難をきわめ、多くの犠牲者を出し、総奉行の平田鞆負も一切の責任を負って自害して果てました。若い藩主重年の心労は大きく、平田鞆負の自刃一か月後の宝暦五年（一七五五年）六月十六日、二十七歳の若さで江戸の芝藩邸で亡くなりました。

さかのぼること七、八年前、重

年の兄宗信は、將軍吉宗の意向により尾張徳川家の姫君を夫人にすることになっていましたが寛延元年（一七四八年）姫君がなくなつたため、その妹君を迎えることになりました。しかし、それからまもなくして、今度は皮肉にも宗信が病氣にかかり、「名君の器」と囑望されながら、翌年、鹿児島鶴丸城で二十二歳の若さで亡くなった経緯があつたのです。

当時幕府は外様大名の力が強大化するのを防ぐため、些細な理由で改易したり、財政が逼迫するような無理難題を強要していました。莫大な出費がいる將軍家の姫の興入れや、幕府のやるべき土木工事の手伝普請などを押しつけていたのです。

歴史に「もし、こうなつていたら」ということはありませんが、もし宗信と尾張徳川家の婚儀がかなつていたら、果たして宝暦治水工事の御手伝普請の幕府命令が発せられていたでしょうか……。あるいは別の命令が下がり、また違う歴史が繰り広げられていたかもしれません。いづれにしても、幕府の巧妙な大名壊滅策は着々と進められていったことでしょう。

参考

島津歴代略記
加治木島津家略系譜



竜門司坂の石切場にある
久門直筆の石塔

初午祭

2月19日(日)

鹿児島神宮



木田の御神馬が先頭

出生児
古市 顕則
保護者
一則
自治会
東諏訪

うぶ声



〔椋鳩十文学記念館自由の館〕
日時 2月26日(10時)
映画 ①いばら姫
②金色のガチョウ
主催 加治木町親子映画会
※無料ですので児童・生徒・親子
多数ご鑑賞ください。
(都合によりフィルムを変更する
ことがあります。)

1995



林	千田	濱田	下小牧	谷口瑛理佳	勝田	勝田	師玉	宮内	吉永翔太郎	山口	堀ノ内秀作	樋口	吉留	内村	立岡	堀入	松田	住吉	山口	前田	久保	八木	有水
遥輝	怜佳	成人	涼	佳	隼人	有加	航	裕司	太郎	貴宏	秀作	将太	千尋	美咲	志浦	龍也	信也	美優	玲奈	千秋	奎太	悠馬	
正美	一成	正成	政広	健一	清人	清人	保之	一美	正行	松信	逸郎	利昭	洋一	浩美	博志	浩	正樹	哲也	光明	昌二	敦	孝一	明
小鳥	岩原西	反土黒川	春日団地	反土黒川	天神	天神	須崎	吉原	田中	原ノ門	西ノ原	須崎	原ノ門	岩原東	原ノ門	吉原	向江町	東吉原	豊町	赤坂	内原田	高井田	原ノ門

▽十二月二十日までに住民台帳に
記載された分を掲載いたしました。

御寄付

香典返しのかわりに
御寄付をいただきまし
た。厚く御礼申し上げ
ますとともに、故人の
ごめい福をお祈りいた
します。(一)内は故人
社会福祉協議会へ

五万円 毛上 後藤忠道(父 國男)
二万円 岩原西 安留照幸(母 タミハ)
三万円 東諏訪 高崎妙子(夫 允彦)
一万円 新富団地 中島清治(父 清)
三万円 札立 北ミヨ子
(母 川野キヨ子七)
五万円 豊町 前田辰郎(母 フジ子八)

無料
人権法律相談
鹿児島地方事務局加治木支
局のほか、次の人権擁護委員
の方々が、自宅でも御相談に
応じています。
お気軽に御相談下さい。
秘密は、固く守られます。
郡山政弘 木田一六一三一
(63-3585)
中摩多美子 反土二七五六
(62-2768)
篠崎利治 木田四二四二
(63-5175)

平成7年 2月在宅医表

5	玉利医院	内科・皮膚科 加治木町本町118 ☎62-2328
11	加治木整形外科	整形外科・理学療法科 加治木町港町147-2 ☎62-3711
12	松元医院	内科 溝辺町有川231 ☎59-2823
19	壺岐内科	内科・小児科・循環器科 加治木町諏訪町196 ☎62-2222
26	佐藤医院	内科・小児科 溝辺町有川327-2 ☎59-2607
※ 診療時間は午前9時から午後5時まで。(原則として) ※ 当日の往診ならびに緊急以外の受診は御遠慮ください。 日曜・祝日 歯科救急診療 10時-15時 郡歯科医師会館 口腔保健センター (☎0995-58-4388・溝辺町空港近く)		

内原田 上別府キサ(夫 豊八)
三万円 辺川下 中野悦郎(父 政治七)
五万円 札立 湯田政子(夫 健三七)
三万円 於里 本田允章(母 ミサセ)
三万円 市野 外園 貢(妻トキエ六)
五万円 中福良後 楠元徹(母ハル子八)
老人クラブ連合会へ
三万円 札立 湯田政子(夫 健三七)
身体障害者福祉協議会へ
三万円 地久里 鶴田シヅ(夫 巳吉八)

特別寄付

国民年金協議会へ
三万円 内原田 上別府キサ(夫 豊八)
育英奨学資金へ
二万円 札立 湯田政子(夫 健三七)
▽十二月二十日までの御寄付を掲
載いたしました。(年齢は満年齢)
三万一千七十一円
石野重夫さん
加治木町小山田五四〇二番地
※福祉にと四年連続で寄付。あり
がとうございました。
合計額(一七七、七六五円)